

事業所名

Lana kids 咲

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

20 日

法人（事業所）理念		「Lana kids 咲（しょう）」は、病気や重い障害を持つ子どもたちが地域で健やかに成長できる環境を提供するために誕生しました。全国には約2万人の「医療的ケア児」がおり、保育園や幼稚園に通えない状況が続いています。その結果、家族は就労が難しくなり、子どもたちの遊び場も限られています。「Lana kids 咲」は、医療的ケア児が病院や自宅以外の場所で安全に社会とつながりを持ち、成長する機会を提供します。すべての子どもたちが安心して暮らせる街づくりを目指しています。						
支援方針		0歳から18歳までの重症心身障がい児、医療的ケアが必要なお子さんにそれぞれに応じた療育を提供し、保育士・児童指導員が主軸となり、発達段階に合わせてじっくりと関わり、成長をより促す支援を行います。また看護師が常駐し、必要な医療的ケアを実施します。理学療法士・作業療法士も協働して、将来を見通して必要とするリハビリを行います。						
営業時間		平日	9時00分から18時00分まで	土日祝日及び 学校等休日	9時00分から18時00分まで	サービス提供時間 ①9:30～12:30 ②14:00～17:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人 支援	健康・生活	○健康・・・来所時のバイタルチェック、排痰の為の体位変換、必要に応じた吸引。また適切な注入などによる健康管理とリラックス姿勢の為のポジショニング等健康の維持向上を目的とした支援を行います。 ○生活・・・観察と適切な医療ケアにより睡眠、食事、排泄などの生活リズムの安定を支援します。						
	運動・感覚	○様々な遊びを通して楽しみながら五感（視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚）に働きかけ感覚統合を意識した遊びを実施します。 ○遊びながら姿勢保持や上下肢運動、巧緻性などのトレーニングを行います。 ○リハビリ職員と連携を取り、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・向上を図ります。 室内遊び：トランポリン、ブランコ、シートブランコ、バルーン、バラバルーン、ボウリング、小麦粘土、フィンガーペイント、泡遊び、塗り絵、シール貼り、知育玩具等 外遊び：テラス遊び、畑作業（遊び）、散歩、公園、水遊びなど						
	認知・行動	○保育士を中心にリトミックを取り入れた始まりの会を実施し、楽しみながら参加意識や集中力を養い、その日のお友だちの名前を紹介していくことで他児への意識や物事の始まりなどの理解を高めます。 ○遊びや活動の中で視覚・聴覚・触覚などの感覚を活用し、認知機能の発達を促す支援を行います。 ○色々な物の機能や属性・形状・色・音などの変化を楽しみながら空間・時間・数や量・大きさ・色などの理解を促します。 ○丁寧な関わりにより、誤学習による行動や課題のある行動の抑制を支援します。						
	言語 コミュニケーション	○児童に語りかけながら一緒に遊んだり活動することで、言語の理解を高めます。 ○障がい特性や発達段階に応じて非言語コミュニケーションを大切に、自己主張や意思決定を促します。理解を示すことで自己肯定感を高め、次のステップのコミュニケーション手段の獲得を目指します。 ○遊びや活動を通じて他児と関わる機会を作り、コミュニティの形成やソーシャルスキルの獲得を支援します。						
	人間関係 社会性	○職員との関係性を構築し、自宅以外でも安心して過ごすことができる人間関係を育んでいきます。 ○複数の児童と同じ時間や空間で過ごし、共同で遊びや活動を行い、順番を待つ、一緒に行くなどで社会性を身に着ける支援を行います。						
家族支援		○送迎時や連絡帳、通信機器の利用などでLana kids咲での様子や体調などの情報を共有します。 ○看護師、リハビリスタッフ、保育士等各専門職員が体調管理や成長に関わるアドバイスを必要に応じて提供します。 ○きょうだい児のための時間確保やレスパイトのための利用など、適宜ご相談に応じます。 ○定期的（半年に1回以上）なモニタリング面談他、必要に応じて面談を実施し、成長や課題についてご家族のご希望やご意見を伺います。						
地域支援・地域連携		○公園・図書館など地域の公共施設や近隣の販売店舗を利用し、地域資源を活用します。 ○行政をはじめ各医療機関、保育園・幼稚園・学校等や福祉機関と連携し、包括的な支援を行います。						
移行支援		○保育園・幼稚園・学校等への移行に伴い、ご家族の了承のもとLana kids咲での様子や資料を提供すると共に移行先での定着に協力します。 ○医療機関利用時にご家族の了承のもと情報提供を行います。			主な行事等		○季節野菜の植え付けと収穫 ○季節行事とお誕生日会の実施	
職員の質の向上		○定期的な研修と多職種連携によるスキルアップ・・・専門的な研修（月に1回以上）やケースカンファレンスなどを通じて、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。保育士、看護師、介護福祉士、社会福祉士、また同法人内の理学療法士、作業療法士等専門職からの知識などの共有を図っています。 ○良好な職場環境・・・環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、働きやすい職場環境と職員のストレス軽減を図っています。						